

取扱説明書

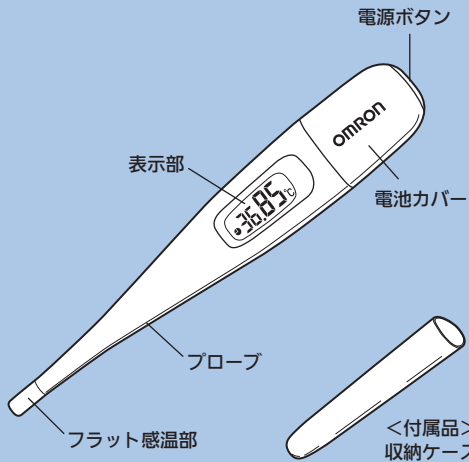
品質保証書付き

OMRON

3776333-5D

MC-6830L/MC-6832L

口中専用



このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきありがとうございます。
■安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
■本書は、いつもお手元においてご使用ください。
■本書は、品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
■本書に記載しているイラストはイメージ図です。

All for Healthcare

製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロンヘルスケア お客様サポート
<http://www.healthcare.omron.co.jp/support/>

オムロン お客様サービスセンター
TEL 0120-30-6606 (通話料無料) FAX 0120-10-1625 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00 (祝日を除く月~金)
〒151-8503 三浦県松阪市久保町1855-370 ※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。

保証規定・品質保証書

- 保証規定**
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。
 - 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターまたはご購入の販売店にご連絡ください。
 - 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、水没などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 品質保証書の提示がない場合。
 - (ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、または販売店で発行されたお買い上げを証明するものがない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
 - 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 - 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものではありません。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - 修理対応期間は製造打ち切り後6年となります。

品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、1年間は無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

商品型式名 MC-6830L / MC-6832L

お買い上げ店名 _____ 年 月 日

お買い上げ年月日 _____ 年 月 日

製造販売元 **オムロンヘルスケア株式会社**
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

1 次のものが入っていますか？

- ☒ 次のものがすべてそろっていることを確認してください。
- ☐ 本体 ☐ 収納ケース

- ☐ お試用電池（リチウム電池 CR1220×1 個、内蔵）
※ご購入時は、あらかじめ本体に入っています。
- ☐ 取扱説明書（本書：品質保証書・医療機器添付文書・EMC 技術資料付き）
- ☐ コーションシート
- ☐ omron 式美人基礎体温表
- 不足しているものがありましたら、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。（☎ 10. サポート情報）

2 安全上のご注意

- お使いになる前に必ずお読みください。
- ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

警告、注意について	
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定されます。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害*の発生が想定されます。

*物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

警告

- 測定中に体温計の近く（30cm 以内）で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。
▶正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。
- 乳幼児の手の届くところに保管しない。
または、子供だけで使わせない。
▶自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。
- 電池やねじ、電池カバーは乳幼児の手の届くところに置かない。
▶乳幼児が電池やねじ、電池カバーを飲み込む恐れがあります。電池を飲み込むと短時間で食道に穴が開くなど重症化することがあります。万一、飲み込んだ場合は、無理に吐かせようとせず、すぐ医師の診察を受けてください。
- 検温結果の自己診断や治療をしない。
▶自己診断は、病気が悪化する原因になります。医師の指導に従ってください。
- 口中以外（わきや耳など）で検温しない。
▶本製品は口中専用体温計のため、正しい検温ができません。
▶耳などを傷つける原因になります。
- 本体が水などでぬれた状態で検温しない。
▶正しい検温ができません。
- 複数の人で共用しない。
▶病原菌に感染する原因になります。
- 電池を加熱したり、火の中に入れたりしない。
▶破裂などにより、けがの原因になります。

注意

- 人の検温以外に使わない。
▶正しい検温ができません。
▶動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。
- 本体は、防水ではないため、水につけない。
※本体水洗いできるのはフラット感温部（以下、「感温部」）の先端から約5cmまでです。
- 強い静電気や電磁波のある場所で使わない。
- 分解や修理、改造をしない。
▶検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 本体を噛まない。
- 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしない。
▶事故や故障の原因になります。
- 指定外の環境条件で保管したり、使ったりしない。
▶正しく検温できないことがあります。
- 電池の ⊕ ⊖ 極を間違えて入れない。
指定外の電池を使わない。
電池の液が目に入ったら放置しない。すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受ける。
- 電池を使い切ったときや長期間使用しないときは、電池を本体内に入れたままにしない。
- 電源が入ったまま、電池交換を行わない。
- 使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。
- 本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしない。
▶けがや本体故障の原因になります。
- 本体の向きを間違えて収納ケースに入れない。
▶無理に入れようとすると、本体や収納ケースが破損して、けがの原因になります。

3 なぜ約10秒で測れるの？（予測検温のしくみ）

■体温とは・・・

体温とは、体深部の温度のことです。この体深部の温度を舌下で知るためには温度変化のなくなった体温（平衡温）で測る必要があります。

■5分後の体温を約10秒で予測する

一般的に舌下で平衡温を測るには約5分かかります。

本製品は、検温開始から温度の上がりかたを分析・演算することにより、約10秒で約5分後の体温を予測することができま

※体の内部と同じくらいに温まったときの温度を「平衡温」といいます。
※予測検温だけでなく、実測検温もできます。

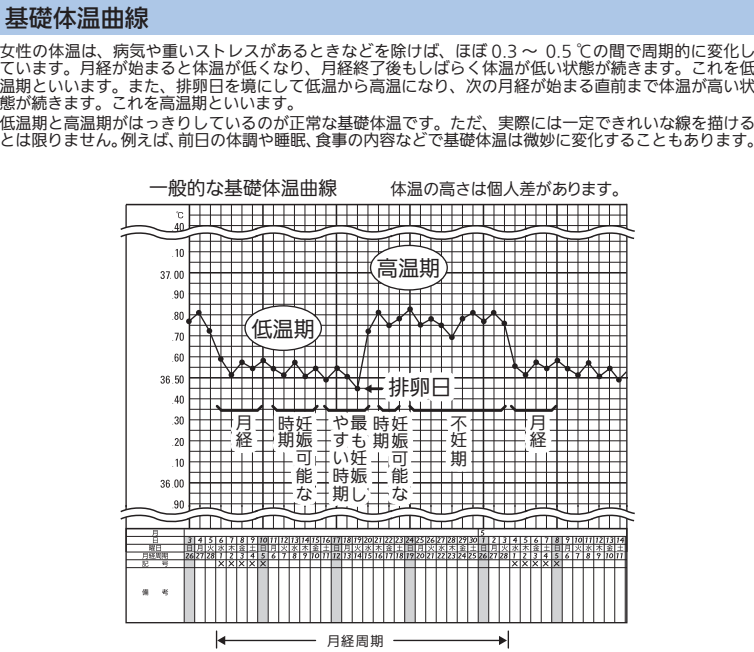
医師の指示などで、より厳密な検温が必要な場合は実測検温をしてください。実測検温のしかたは、「実測検温をする場合」を参照してください。

4 基礎体温とは

基礎体温は、運動や飲食、強い精神的作用などがなくとき（体が最も安静な状態のとき）の体温です。

基礎体温は毎朝、目が覚めてすぐ起き上がる前に、寝たまま口の中で測ります。なるべく同じ時間に検温することをお勧めします。

数ヶ月記録すると、自分の基礎体温曲線が分かります。



基礎体温で分かること

体温を毎日測ると、自分の体のリズム（体温の変化）が分かります。このリズムを知ることで、排卵の有無や月経の時期、妊娠しやすい時期など、体の状態を知ることができます。なお、これまでの体温の変化と少しでも違うなと感じた場合や、病気が疑われるような場合は、必ず産婦人科医に相談してください。

妊娠を望むなら・・・

排卵後の卵子の寿命は24時間程度、また精子の受精能力は約3日間です。したがって、排卵日の3日前から1日後の5日間が、最も妊娠しやすい時期といえます。

妊娠を避けたいなら・・・

高温になって3日目から次の月経までが妥当といえます。理論的には最も妊娠しやすい5日間だけ注意すればいいのですが、実際は精子の受精能力が強い場合や、卵子の寿命が2日間以上続く場合もあります。妊娠を避けたい場合は、必ず他の避妊方法も併用してください。

妊娠の早期判断は・・・

排卵日より数えて21日目になっても体温が高く、月経が来ないときは妊娠と考えられます。しかし、薬の服用や体調などにも影響される場合がありますので、正しい妊娠の診断は産婦人科医に相談してください。

5 正しく測るために

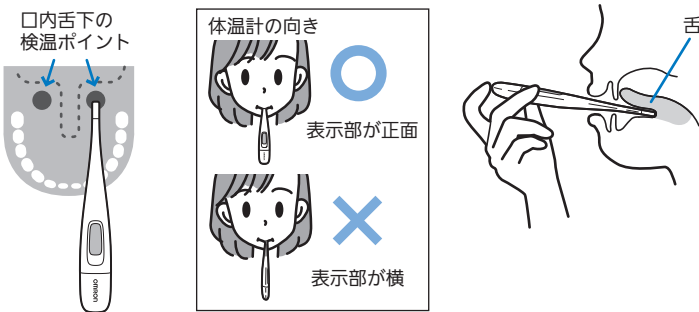
- 目が覚めてすぐ、起き上がる前に、寝たまま口の中で測ってください。なるべく動かないでください。また、検温前、検温中は飲食はしないでください。
- 毎朝、同じ時間に検温することをお勧めします。

体温計の正しいあてかた

体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

- 舌下のつけ根の左右どちらかにあてる
- 毎朝、同じポイントで測る
口中でも場所によって温度が異なります。
- 舌で押さえて口を閉じる
- 体温計がずれないように手で支える
- 検温中は口を開かない
- 口で呼吸しない

血行の状態や体格などにより、精度の高い検温値が得られない場合があります。



6 体温の測りかた（検温）

1 電源を入れる。

電源ボタンを押すと、「ビッ」と音がして、電源が入ります。

2 「L」が表示されたら、感温部を舌下の付け根にあて、口を閉じる。
※「5. 正しく測るために」を確認してから検温してください。

3 約10秒後にブザーが鳴ると、予測検温が終了。
※体温計のあてかたや検温時の条件などにより、検温が延長される場合があります。

実測検温をする場合

※医師の指示などで、より厳密な検温が必要な場合

3の予測検温が終わっても、そのまま舌下にあて続けてください。

予測検温開始から、約3分後に実測検温値表示に切り替わります。切り替わった直後に表示される検温値は、予測検温結果より少し下がります。

約5分後にブザーが鳴ると、実測検温が終了します。

4 検査結果を確認し、omron 式美人基礎体温表に記入する。

5 電源を切って、収納ケースに入れる。

電源ボタンを押すと、「ビッ」と音がして、電源が切れます。

お知らせ

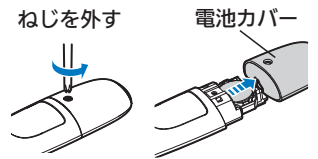
- 電源を切っても、再度電源を入れると前回検温値が表示されます。
- 検温していない状態で、電源を切らずに放置した場合、オートパワーオフ機能によって約15分後に電源が切れます。

7 電池の交換のしかた

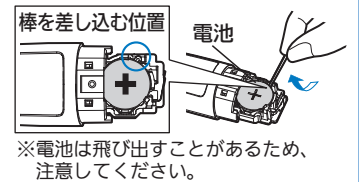
使用電池：リチウム電池 CR1220（市販品）1個
・ バッテリーマーク：このマークが点滅したときは、新しい電池を準備してください。

・ 電池交換マーク：このマークが点灯したときは、新しい電池と交換してください。 マーク

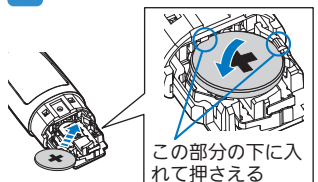
1 本体裏面の電池カバーのねじを、小型ドライバーで外し、電池カバーを外す



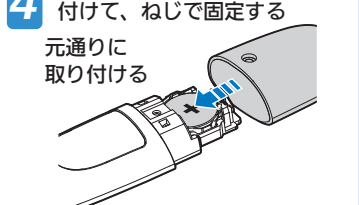
2 つまようじ等の細くて折れにくい棒で電池を取り出す



3 電池を（⊕を上に）して、図のように入れる



4 電池カバーを元通りに取り付けて、ねじで固定する



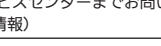
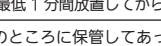
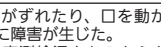
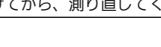
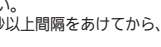
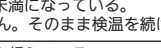
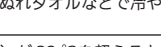
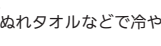
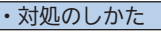
※電池は飛び出すことがあるため、注意してください。

この部分の下に入れて押さえる

お知らせ

- ご購入時は、あらかじめお試用電池が本体に入っています。お試用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがあります。
- 使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

8 おかしいな？と思ったら

表示	原因・対処のしかた
1  数字は0～4を表示	本体が故障している可能性がある。 ▶オムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。（ 「お問い合わせ」 参照）
2 	体温計が約40℃を超えるところに保管してあった。 ▶10～40℃の部屋に最低1分間放置してから、検温してください。
3 	体温計が約10℃未満のところに保管してあった。 ▶10～40℃の部屋に最低1分間放置してから、検温してください。
4  ブザーが「ピピピ…」と鳴る	予測検温中に、体温計がずれたり、口を動かしたりしたために、温度上昇の分析・演算に障害が生じた。 ▶そのまま測り続けて実測検温をおこなうか、一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
5  ブザーが「ピー」と鳴る	体温計を正しくあてていない。または、体温計がずれていたために、正しく検温できていない。 ▶一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
6  ブザーが「ピーピー」と鳴る	体温計を正しくあてていない。または、体温計がずれていたために、正しく検温できていない。 ▶一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
7 	感温部の温度が32℃未満になっている。 ▶エラーではありません。そのまま検温を続けてください。
8 	感温部の温度が42℃を超えている。 ▶感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。
9  数字は32.00～42.00を表示 ※体温を測っていないとき	外気温（周囲環境温度）が32℃を超えると感温部が温まり、実際の温度が表示される。 ▶感温部をよく絞ったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

こんなとき	原因・対処のしかた
電源ボタンを押しても表示部に何も表示されない	電池が正しく入っていない。 ▶電池の汚れや、⊕ ⊖の向きを確認して、電池を入れ直してください。（ 「電池の交換のしかた」 参照） ・電池残量がなくなっている。 ・表示部に電池交換マーク（  ）が表示された後、何も表示されない。 ▶新しい電池（CR1220）1個と交換してください。（ 「電池の交換のしかた」 参照）
検温値がばらつく	体温計の感温部をあてる位置が、検温するたびに変わっている。 体温計が動いて、感温部がずれた。検温中に口を開けた。 ▶体温計の正しいあてかたを確認してください。（ 「正しい測りかた」 参照）
検温値が通常より高い または 検温値として「H」（42℃を超える）が表示される	飲食したり、起き上がった。起立後、何もしない状態で検温してください。
検温値が通常より低い または 検温値として「L」（32℃未満）が表示される	口の中が冷えている。 ▶口をししばらく閉じて温めから、測り直してください。 連続して検温している。 ▶一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。

9 保管とお手入れ

保管時のお願い

体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。

- 水のかかるところ。
- 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 振動、衝撃のあるところ。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

お手入れ時のお願い

体温計は、口中で検温するため、いつも清潔にお手入れしてください。

- 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2～3回拭き取ってください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。
- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水またはぬるま湯に浸した布をかくと絞って拭き取った後、やわらかい布でから拭き取ってください。
- 水洗いは感温部の先端から約5cmに留めてください。水洗い後は乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってから、収納ケースに入れて保管してください。
- 下記の内容を必ずお守りください。お守りいただけないと、故障の原因になります。
 - 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
 - 本体は、防水ではありません。本体内部に、水などが入らないように注意してください。※本体水洗いできるのは感温部の先端から約5cmまでです。
 - 体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
 - 超音波洗浄をしないでください。
 - 水気が付いたままでケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布で拭き取ってください。
- 収納ケースは水洗いが可能です。水洗い後はよく水を切り、収納ケースの水気がなくなったことを確認してから本体を収納してください。

10 サポート情報

●本製品に役立つウェブサイトをご紹介します。

お問い合わせの前に

■製品のよくあるご質問 <http://www.healthcare.omron.co.jp/faq/>

●お問い合わせの前に「8. おかしいな？と思ったら」もあわせてご確認ください。

オムロンお客様サービスセンター

■「オムロンヘルスケア お客様サポート」ウェブサイト
<http://www.healthcare.omron.co.jp/support/>

あるいは検索サイトで と検索する

11 仕様

販売名	婦人用電子体温計 MC-6830L シリーズ	測定精度	±0.05℃（35.00～38.00℃）、 ±0.10℃（32.00～34.99℃、38.01～42.00℃） （標準室温23℃にて、恒温水槽で実測検温した場合）
商品形式	MC-6830L / MC-6832L	測温範囲	32.00～42.00℃
医療機器 認証番号	230AGBZX00058000	使用環境条件	+10～+40℃/30～85％RH
類別	機械器具16体温計	保管環境条件	－20～+60℃/10～95％RH
一般的名称	電子体温計	本体質量	約14g（電池含む）
医療機器分類	管理医療機器	耐用期間	5年
電源電圧	DC3V（リチウム電池CR1220×1個）	外形寸法	幅20.1×長さ136.8×厚さ12.8mm
電池寿命	約1100回（予測検温） 約500回（実測検温）	付属品	・お試用電池（リチウム電池CR1220×1個、内蔵） ・収納ケース ・取扱説明書（品質保証書・医療機器添付文書・EMC技術資料付き） ・コーションシート ・omron式美人基礎体温表
感温部	サーミスタ	製造販売元	オムロンヘルスケア株式会社 電話：0120-30-6606 （オムロンお客様サービスセンター）
電撃保護	内部電源機器  ＝BF形装着部（感温部・プローブ）		
測定方式	予測・実測（ピークホールド方式）		
体温表示	4桁＋℃表示、0.01℃毎		

EMC 技術資料

本製品は、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC 60601-1-2：2014 に適合しています。

お問い合わせの際は、本製品に付属の医療機器添付文書、取扱説明書をよく読んでお使いください。

IEC 60601-1-2：2014（5.2.1.1項）において、機器が安全に機能するための EMC 環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、EMC にかかわる技術的な説明を以下に記載します。（詳細は、IEC60601-1-2：2014 をご参照ください。）

IEC 60601-1-2 に代表される EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規程した規格です。

EMC（電磁両立性）とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。

- 周辺の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
- 周辺の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

注意

- 本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要です。本書に記載された EMC 情報に基づいて使用してください。
- 携帯及び移動無線周波（RF）通信機器により本機器は影響を受けることがあります。
- 本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。

表 1－エミッション適用規格および適合性		
エミッション試験項目	適用規格	適合性
放射 RF エミッション	CISPR 11	グループ 1、クラス B

表 2－イミュニティ試験レベル		
イミュニティ試験項目	適用規格	イミュニティ試験レベル
静電気放電	IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 2 kV、± 4 kV、± 8 kV、± 15 kV 気中 外装ポート用
放射 RF 電磁界	IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz 1 kHz で 80 % AM 外装ポート用
RF ワイヤレス通信機器からの近接電磁界	IEC 61000-4-3	表 3 参照
定格電力周波数磁界	IEC 61000-4-8	30 A/m 50 Hz および 60 Hz 外装ポート用

表 3－RF 無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様						
試験周波数（MHz）	帯域（MHz）	サービス	変調	最大電力（W）	距離（m）	イミュニティ試験レベル（V/m）
385	380～390	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	1.8	0.3	27
450	430～470	GMRS 460、 FRS 460	FM ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦	2	0.3	28
710	704～787	LTE 帯域 13、17	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
745						
780						
810	800～960	GSM 800/900、 TETRA 800、 iDEN 820、 CDMA 850、 LTE 帯域 5	パルス変調 18 Hz	2	0.3	28
870						
930						
1720	1700～1990	GSM 1800； CDMA 1900； GSM 1900； DECT； LTE 帯域 1、3、4、 25；UMTS	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
1845						
1970						
2450	2400～2570	Bluetooth、 WLAN、 802.11 b/g/n、 RFID 2450、 LTE 帯域 7	パルス変調 217 Hz	2	0.3	28
5240	5100～5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	0.2	0.3	9
5500						
5785						

2018年6月（第1版）

医療機器認証番号：230AGBZX00058000
機械器具16 体温計
管理医療機器 電子体温計 14032010

婦人用電子体温計 MC-6830L シリーズ

【禁忌・禁止】

- 検温結果の自己診断、治療は危険です。医師の指導にしたがってください。
- 自己診断は、病気が悪化する原因になります。】
- 人の検温以外に使用しないでください。
- 動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。】
- 本製品は口中用の体温計です。口中以外（わきや耳など）で検温しないでください。
- 正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。】
- 感温部を含むプローブをかみ切らないでください。
- 事故や故障の原因になります。】
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- また、お子様だけのご使用はさけてください。
- 【自分で測ろうとしてけがをする原因になります。】
- 電池やねじ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
- 【乳幼児が電池や電池カバーを飲み込む恐れがあります。】
- 電池を加熱したり、火の中に入れたりしないでください。
- 【破裂などにより、けがの原因になります。】

(8) 測温範囲外告知：32.00℃未満のとき「L」を表示、
42.00℃を超えるとき「H」を表示

(9) 感温部：サーミスタ

(10) 測定方式：予測・実測（ピークホールド方式）

(11) 体温表示：デジタル表示4桁＋℃表示、0.01℃毎

(12) 使用環境条件：+10～+40℃/30～85％RH

【使用目的又は効果】

感温部を部位に接触させて、口腔（舌下）の体温を測り、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

(1) 電源ボタンを押して電源を入れます。

(2) 表示部が「検温準備完了表示」になっていることを確認します。

(3) 感温部を舌下のつけ根にあて、口を閉じます。

(4) 予測検温を終了するまで、本体を保持します。

(5) 予測検温終了のブザー音で、予測検温結果を確認します。

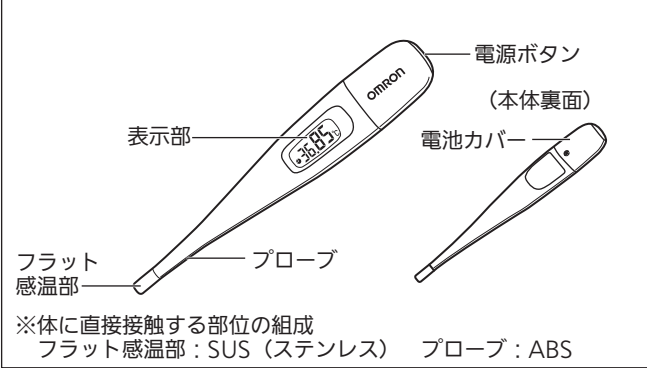
(6) 予測検温のみ場合は、電源ボタンを押して電源を切ります。実測検温の場合はそのまま検温を続けます。

(7) 予測検温開始から約5分で検温が終了しブザー音が鳴ります。

(8) 実測検温結果を確認し、電源ボタンを押して電源を切ります。・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【形状・構造及び原理等】

1.主要部の形状と名称



※体に直接接触する部位の組成
フラット感温部：SUS（ステンレス） プローブ：ABS

2.構成
付属品
リチウム電池 CR1220（お試用）
収納ケース
取扱説明書

3.本体寸法及び重量
外形寸法：幅20.1×長さ136.8×厚さ12.8mm
本体質量：約14g（電池含む）

4.電気的定格
電源電圧：DC 3V（リチウム電池 CR1220×1個）
電撃保護：内部電源機器 BF形装着部
消費電力：0.01 W

5.作動・動作原理
本製品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約10秒後に予測値を表示し、その後、約3分までは予測値を、それ以降は、実測値の最高温度を0.01℃単位で表示する電子体温計である。
検温中は、検温開始から約10秒後に予測検温が終了した事を知らせるブザーが鳴る。検温をそのまま続けると、予測検温開始後から約5分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

6.性能及び安全性に関する規格等
(1) 最高温度保持機能：実測して定常状態に達した後の最高の温度値を保持し、一定時間又はリセットするまで表示する
(2) デジタル表示：実測した体温をデジタル表示する
(3) 最大許容誤差：±0.05℃（35.00～38.00℃）
±0.10℃（32.00～34.99℃、
38.01～42.00℃）

※標準室温23℃にて恒温水槽で実測検温した場合
(4) 電源電圧：試験前後の温度差の差：婦人用 ±0.1℃以内
(5) 防 漏：試験1回目と2回目及び1回目と3回目の温度表示値の差：婦人用 0.04℃以下
(6) 測温範囲：32.00～42.00℃
(7) 最小表示単位：0.01℃

【使用上の注意】

(1) 指定の電池を使ってください。

(2) 電池の⊕ ⊖ 極を正しく入れてください。

(3) 周囲温度が10～40℃の範囲で使用してください。

(4) 連続して検温しないでください。一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。

(5) 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。

(6) 本体を収納ケースに入れる際は、本体の向きが正しいことを確認してください。

(7) アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

(8) 電池の電圧が低下すると電池交換マークが表示されますので電池を取り替えてください。

(9) 感温部およびプローブは防浸ですが、それ以外（表示部など）は防浸ではありません。本体を水につけないでください。

(10) 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。

(11) 本体や収納ケースに強い衝撃を与えたり、落としたり、踏んだりしないでください。

(12) 分解や修理、改造をしないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法
(1) 次のようなところに保管しないでください。
1) 水のかかるところ。
2) 高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
3) 振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

(2) 保管環境条件：－20～+60℃/10～95％RH

2.耐用期間
標準的な使用期間：5年【自己認証（当社データ）による】

【保守・点検に係る事項】

(1) 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。

(2) 勝手に改造しないでください。

(3) 本製品に水や化学薬品をかけないでください。

(4) 使い終わったら、体温計はいつも清潔にしてください。

(5) 汚れがひどいときは、やわらかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取った後、やわらかい布でから拭きしてください。

(6) 体温計の感温部をアルコールに浸したり、50℃を超える湯で消毒しないでください。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】
製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社
電話：0120-30-6606
（オムロン お客様サービスセンター）